

CITATION: Krishnaiah B, Ramaratnam S, Ranganathan LN. Subpial transection surgery for epilepsy *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2013, Issue 8. Art. No.: CD008153.  
DOI: 10.1002/14651858.CD008153.pub2..  
CRG名: Epilepsy Group.

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 14 August 2013  
Clib issue No.; N/U: 2013 Issue 8; Update

## アブストラクト

**背景:** てんかん患者のほぼ30%で、複数の抗てんかん薬(AED)治療を受けているにもかかわらず、発作が継続している。このような場合、てんかん患者は難治性、もしくはコントロール不良のてんかんであるとされる。コントロール不良もしくは内科的治療抵抗性のてんかんに関して、広く受け入れられている定義はないが、本レビューでは、少なくとも2種類以上のAEDが奏効しない場合に、その発作を薬剤抵抗性とみなすことにする。早期の外科的介入は、若年の発作を予防し、児の知的および社会的状態を改善すると考えられている。難治性てんかんに対する手術法はたくさんあるが、軟膜下皮質切断術はそのひとつである。

**目的:** 我々の主な目的は、小児と成人における部分起始発作および全身性強直間代発作に対する軟膜下皮質切断術の利益と有害作用を判定することである。

**検索戦略:** Cochrane Epilepsy Group Specialised Register(2013年8月8日)、Cochrane Central Register of Controlled Trials(CENTRAL第12の7号、コクラン・ライブラリ2013年7月)およびMEDLINE(1946年~2013年8月8日)を検索した。言語上の制約は全く設けなかった。

**選択基準:** 盲検および非盲検全てのランダム化および準ランダム化並行群間比較試験を検討した。

**データ収集と分析:** レビューア2名(BKおよびSR)が、検索で特定された試験を独立して調べた。同じ2名の著者が、研究の方法論的質を独立して評価するように計画していた。対象に含める研究は、1人の著者がデータを抽出し、別の著者がこれを確認した。

**主な結果:** 関連性のある研究は全く見つからなかった。

**レビューアの結論:** 内科的治療抵抗性のてんかん症例に対する軟膜下皮質切断術を支持するエビデンスも異議を唱えるエビデンスも認められない。臨床診療の指針には、適切にデザインされたランダム化比較試験が今後必要である。

## 平易な要約(Plain language summary)

### てんかんにおける軟膜下切断術

てんかん患者のほぼ30%で、複数の抗てんかん薬(AED)を服用しているにもかかわらず発作が継続しています。このような場合、これらの患者は難治性、もしくはコントロール不良のてんかんであると見なされます。コントロール不良のてんかんは、それ自身で小児の知的機能と社会的状態に影響します。高い罹病率と死亡率の原因となり、生活の質に影響を与えます。難治性てんかんの人のなかには、外科処置から恩恵を受ける人もいます。軟膜下皮質多切術(MST)は、てんかん病巣を切除せずに、その結合を部分的に切断する手術法です。MSTは、神

Copyright © 2014 by Minds, Japan Council for Quality Health Care  
経学的欠損を引き起こすリスクが高いために、てんかん発作帯の切除が不可能である内科的治療抵抗性てんかん患者に行う外科手術のひとつです。本レビューでは、難治性てんかん患者における軟膜下皮質多切術の有効性と有害作用を評価する計画でした。軟膜下皮質切断術と抗てんかん薬療法とを比較した、もしくは軟膜下皮質切断術と別のてんかん手術と比較したランダム化比較試験を、我々は見つけることはできませんでした。したがって、軟膜下皮質切断術の有効性または有害作用のいずれを評価するエビデンスは不十分であり、さらなる研究が必要です。

(監訳 三浦 智史)

翻訳公開日: 2014年 8月 26日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。